

東京湾奥の3つの海域における魚貝類の出現状況

当協会では東京湾奥のD滑走路周辺海域、羽田沖浅場および三枚洲周辺の3つの海域で、刺網、延縄、貝桁網、アナゴ笥を使った調査を行っています(図1)。今回は平成25年度～令和6年度の12年間に行った結果について、3つの海域で比較して紹介します。魚類は3つの海域で延べ90種が採捕されました。最も種数が多かったのは羽田沖浅場で65種、次いでD滑走路周辺海域が59種、三枚洲周辺が51種でした。平均採捕数^{*}ではD滑走路周辺海域>羽田沖浅場>三枚洲周辺の順となっていました(表1)。最も多く採捕された魚種は3つの海域ともコノシロで、次いでD滑走路周辺海域ではカサゴ、羽田沖浅場ではマハゼ、三枚洲周辺ではアカエイの順となっていました(図2)。

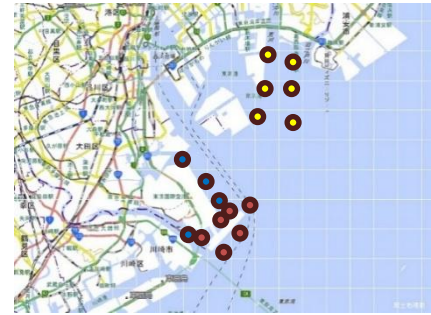


図1 調査地点 (○)

貝類は3つの海域で延べ57種が採捕されました。種数が最も多かった海域は、羽田沖浅場で52種、次いで三枚洲周辺が38種、D滑走路周辺海域が10種でした。甲殻類も羽田沖浅場が最も多く32種、次いでD滑走路周辺海域、三枚洲周辺ともに16種でした。その他の生物も、羽田沖浅場が最も多く25種、次いで三枚洲周辺が13種、D滑走路周辺海域が10種でした(表2、図3)。平均採捕数では貝類、甲殻類、その他の生物とも羽田沖浅場>三枚洲周辺>D滑走路周辺の順となっていました。羽田沖浅場、D滑走路周辺海域、三枚洲周辺はいずれも東京湾奥の貴重な漁場ですが、とくに羽田沖浅場は魚貝類の種類・生息量とも豊富なことが特徴的でした。

表1 海域別魚類採捕種数・採捕数 (H25～R6年度)

調査地点	D滑走路周辺海域 (5漁法、6地点)			羽田沖浅場 (4漁法、4地点)			三枚洲周辺 (4漁法、6地点)		
	種数	採捕数	平均採捕数	種数	採捕数	平均採捕数	種数	採捕数	平均採捕数
魚類	59	13,441	71.5	65	32,045	55.6	51	10,299	33.0

表2 海域別貝類等採捕種数・採捕数 (H25～R6年度)

調査地点	D滑走路周辺海域 (4地点)			羽田沖浅場 (4地点)			三枚洲周辺 (6地点)		
	種数	採捕数	平均採捕数	種数	採捕数	平均採捕数	種数	採捕数	平均採捕数
貝類	10	43	0.2	52	662,588	1,150.3	38	130,897	419.5
甲殻類	16	141	0.8	32	10,710	18.6	16	381	1.2
その他の生物	11	851	4.6	25	20,527	35.6	13	1,670	5.4



図2 コノシロ カサゴ マハゼ アカエイ



図3 ホンビノスガイ ホトトギスガイ イシガニ ヤドカリ類 モクズガニ ユウレイボヤ スナヒトデ

※平均採捕数=採捕数÷調査回数